［ 様式 11 ］

貸 与

第二種奨学金「利率の算定方法」変更届

独立行政法人
日本学生支援機構理事長　殿

下記のとおり「利率の算定方法」の変更をお願いします。
また，利率の算定方法を変更し，場合によっては返還総額が増すことを理解したうえで，独立行政法人日本学生支援機構学資金の第二種奨学金の「利率の算定方法」の変更を下記のとおり願い出ます。
なお，返還誓約書（兼個人信用情報の取扱いに関する同意書）で確認し，誓約した内容に加えて，「利率の算定方法」の変更に係る一切の債務に関しても，確認書並びに返還誓約書 （兼個人信用情報の取扱いに関する同意書）及び日本学生支援機構諸規程に定める取扱いに従うことを誓約します。

太枠線内及び必要事項は正確に，もれなく記入のうえ学校に提出してください。

奨学生番号		学籍番号		提出日	西暦　年　月　日
8 0				生年月日	西暦　年　月　日（満　歳）
学校名		学年	年	フリガナ	
学部・学科（課程・研究科）				氏名（自署）	

私は，貴機構の第二種奨学金の「利率の算定方法」について，
{ 利率固定方式 / 利率見直し方式 }（いずれかを○で囲んでください。）
への変更を届け出ます。

（注）貸与期間中の一定期間変更が可能です。提出期限は必ず学校に確認してください。**※貸与終了後は変更できません。**

■ 保証制度

※現在選択している保証制度にチェックしてください。

□人的保証（右欄を記入）※印鑑登録証明書を添付

機構届出の連帯保証人

私は，上記の利率算定方法の変更により返還総額が変更することを承諾し，記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき，奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し，関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。

〒
住 所　　実印　　電話番号

（自署） 氏 名　　生年月日　　年　月　日

機構届出の保証人

私は，上記の利率算定方法の変更により返還総額が変更することを承諾し，記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき，本人が返還すべき返還未済額の2分の1を保証し，関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。

〒
住 所　　実印　　電話番号

（自署） 氏 名　　生年月日　　年　月　日

□機関保証

今後貸与を受ける奨学金の保証を，引き続き公益財団法人日本国際教育支援協会に委託しますので，保証料は貸与金額から独立行政法人日本学生支援機構が差し引いて同協会に支払うこととしてください。

・機構届出の連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は，本願出提出前に「連帯保証人・保証人等変更届」(様式5)を提出してください。

■親権者又は未成年後見人（本人が未成年者の場合のみ記入）

上記の者が，現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

（親権者又は未成年後見人）住所・氏名（自署）	〒　（TEL：　）	（親権者）住所・氏名（自署）	〒　（TEL：　）

本人が未成年者の場合には，親権者がそれぞれの欄に自署してください。親権者が連帯保証人の場合も，本人が未成年者であれば必ず自署してください。親権者とは，民法に定める親権者のことで，通常は両親です。両親がいる場合は，必ず二名とも記入してください。いずれかがいない場合は一人が記入し，余白に一人の旨を記入してください。未成年後見人がいる場合は，未成年後見人が自署してください。奨学金申込時の「親権者又は未成年後見人」から変更されている場合は，余白にその旨を記入してください。

上記の届出を適当と認めます。

20　　年　　月　　日

学 校 名

●学校記入欄(必須)

返還誓約書機構提出（☑ を記入）	□	提出済

電話番号（担当者名）	学校番号	区分
－　－ （　）		

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は，機構の奨学金支給業務，奨学金貸与業務（返還業務を含む）及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において，当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が，学校，金融機関，文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが，その他の目的には利用されません。機関保証加入者については，機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また，行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は，適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

異動・補導係	郵送必要	入力不可

（26. 4）

［様式 11］

貸 与

第二種奨学金「利率の算定方法」変更届

独立行政法人
日本学生支援機構理事長　殿

下記のとおり「利率の算定方法」の変更をお願いします。
また、利率の算定方法を変更し、場合によっては返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構学資金の第二種奨学金の「利率の算定方法」の変更を下記のとおり願い出ます。
なお、返還誓約書（兼個人信用情報の取扱いに関する同意書）で確認し、誓約した内容に加えて、「利率の算定方法」の変更に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書（兼個人信用情報の取扱いに関する同意書）及び日本学生支援機構諸規程に定める取扱いに従うことを誓約します。

記入例

提出前に記入漏れや誤記入がないか確認のうえ、記入後は速やかに学校へ届け出てください。
※本人自署欄及び人的保証記入欄以外は、学校で記入または印字しても構いません。

太枠線内及び必要事項は正確に、もれなく記入のうえ学校に提出してください。

奨学生番号		学籍番号		提出日	西暦 2026 年 6 月 15 日
8 2 X 0 X X X X X X X		ABCXXX		生年月日	西暦 2005 年 10 月 1 日（満 20 歳）
学校名	学生支援大学	学年	3 年	フリガナ	ｼｮｳｶﾞｸ ﾀﾛｳ
学部・学科（課程・研究科）	経営学部			氏名（自署）	奨学 太郎

①すべての欄を漏れなく記入してください。
氏名欄は必ず奨学生本人が記入してください。

私は，貴機構の第二種奨学金の「利率の算定方法」について，
{ 利率固定方式 / 利率見直し方式 } への変更を届け出ます。
いずれかを〇で囲んでください。

②いずれかを〇で囲んでください。
なお、現在選択している「利率の算定方法」は奨学生自身がスカラネット・パーソナルにて確認することができます。
スカラネット・パーソナルへのログインはこちら →

（注）貸与期間中の一定期間変更が可能です。提出期限は必ず学校に確認してください。**※貸与終了後は変更できません。**

◆誤記入の訂正方法◆
訂正を行う場合は、訂正箇所に二重線を引いて、はっきりと読み取れるように、訂正箇所の直近余白に書き直してください。
なお、下記を除いて訂正印は不要です。
・「保証制度」（連帯保証人欄は連帯保証人実印、保証人欄は保証人実印による訂正印が必要）

■ 保証制度

※現在選択している保証制度にチェックしてください。

☑人的保証（右欄を記入）
※印鑑登録証明書を添付

機構届出の連帯保証人

私は，上記の利率算定方法の変更により返還総額が変更することを承諾し，記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき，奨学金の返還が完了するまで本人と連帯して保証し，関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。

〒 162－8412
住 所 東京都新宿区市谷本村町10-7　　電話番号 080-0000-8888
育英 忠雄
（自署）氏 名　　生年月日 昭和40 年 2 月 8 日

機構届出の保証人

私は，上記の利率算定方法の変更により返還総額が変更することを承諾し，記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき，本人が返還すべき返還未済額の2分の1を保証し，関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。

〒 153-8503
住 所 東京都目黒区駒場 4-5-29　　電話番号 090-0000-9999
育英 暁子
（自署）氏 名　　生年月日 昭和45 年 4 月

□機関保証　今後貸与を受ける奨学金の保証を，引き続き公益財団法人日本国際教育支援協会に委託しますので，保証料は貸与金額から独立行政法人日本学生支援機構が差し引いて同協会に支払うことといたします。

・機構届出の連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は，本願出提出前に「連帯保証人・保証人等変更届」(様式5)を提出してください。

③**保証制度欄**
・選択している保証制度に✓を記入してください。

・人的保証制度選択者の場合、連帯保証人・保証人の自署・実印押印及び印鑑登録証明書の添付が必要です。
※連帯保証人・保証人は正しい欄への記入が必要です。逆に記入した場合は新しい様式への書き直しをお願いいたします。
※記入を誤った場合は、「【参考】『変更・訂正後の借用金額（予定）』『連帯保証人・保証人』欄の訂正方法等について」を参照して訂正ください。

■親権者又は未成年後見人（本人が未成年者の場合のみ記入）

上記の者が、現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

（親権者又は未成年後見人）住所・氏名（自署）	〒 （㊞）	（親権者）住所・氏名（自署）	〒 （㊞）

本人が未成年者の場合には、親権者がそれぞれの欄に自署してください。親権者が連帯保証人の場合も、本人が未成年者であれば必ず自署してください。親権者とは、民法に定める親権者のことで、通常は両親です。両親がいる場合は、必ず二名とも記入してください。いずれかがいない場合は一人が記入し、余白に一人の旨を記入してください。未成年後見人がいる場合は、未成年後見人が自署してください。奨学金申込時の「親権者又は未成年後見人」から変更されている場合は、余白にその旨を記入してください。

④**親権者欄**
奨学生本人が、提出日時点で未成年（18歳未満）の場合は、記入が必要です。

上記の届出を適当と認めます。

20 26 年 6 月 19 日

学 校 名　学生支援大学
機構 次郎

●学校記入欄(必須)

返還誓約書機構提出（☑を記入）	コ	提出済

電話番号（担当者名）	学校番号	区分
03 － XXXX － XXXX （ 〇〇〇 ）	3XXXXX	00

赤枠内は学校の記入・証明欄のため、本人記入は不要です。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は，機構の奨学金支給業務，奨学金貸与業務（返還業務を含む）及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において，当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が，学校，金融機関，文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが，その他の目的には利用されません。機関保証加入者については，機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また，行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は，適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

異動・補導係	郵送必要	入力不可

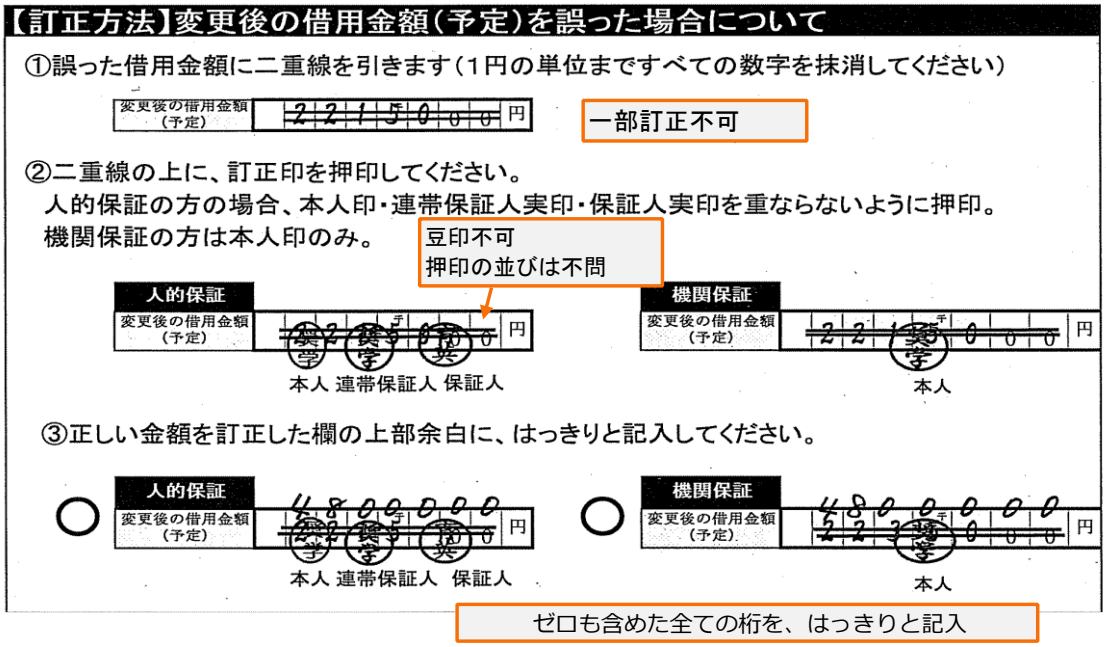
（26. 4）

【参考】「変更・訂正後の借用金額（予定）」「連帯保証人・保証人」欄の訂正方法等について

願（届）出用紙の訂正は、なぞり書きや修正テープ等での訂正はできません。
署名訂正や押印についても、下記を確認し、適切に訂正してください。

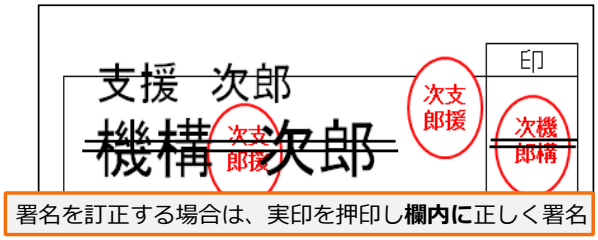
■『変更・訂正後の借用金額（予定）』欄の訂正方法について

①本人署名横に本人印を押印する
②借用金額**全体を二重線**で削除する
③訂正した**二重線上に訂正印**を押印する（訂正箇所ごとに各押印が必要）
・人的保証の場合：本人印（本人氏名横同一印）・連帯保証人と保証人の実印
・機関保証の場合：本人印（本人氏名横同一印）
④正しい金額（ゼロも含めた全ての桁）を上部余白に記入する



■『連帯保証人・保証人』欄の訂正方法について

〈例〉署名を訂正する場合
①**氏名全体に二重線**を引く
②署名を訂正する者の実印を、
二重線上に他の印と重ならないよう押印
③**欄内余白**に、文字が重ならないよう正しく署名する

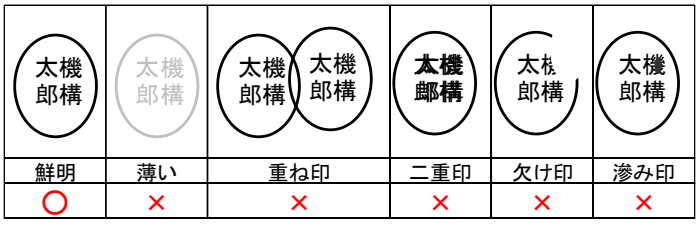


署名を訂正する場合は、実印を押印し**欄内に**正しく署名

※欄内の住所、電話番号、生年月日についても同様の方法で訂正が必要です。
※奨学生本人の自署欄は訂正印不要です。

■正しい『押印』の例

重印・二重印・欠け印・にじみ印とならないよう、**朱肉を用いて鮮明に押印**してください。



本人印は、朱肉を用いて押印※豆印不可

連帯保証人や保証人は、実印での押印のみ
※印鑑登録証明書に押印されている印